



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



年の始めに考えてみたこと

1 起源を知ること・・・

(1) 辰（たつ）年に込められた意味

正式には「甲（きのえ）・辰」年。「草木が成長する」→「これまで努力してきたことが実を結ぶ」年になると言われています。そんな年になりますように！

(2) 正月行事の起源

例えば、お年玉。正月に神様をお迎えするためにお供えした鏡餅を後に家族に分け与えることだそうです。そもそも、子供のほうから親にお年玉をせがむというのは、「起源」からすると、お門違いかもしれませんね。

2 過去の負の歴史から・・・

(1) 明智光秀は謀反の後、なぜ天下を取れなかったのでしょうか。恨みを晴らせたが人の命を奪ってまでの行いは悪因悪果ということかもしれません。（磯田道史著『日本史を暴く』中公新書）

(2) 過去の薬害事件を踏まえ、コロナ対策にまちがいはなかったと言えるのでしょうか。ワクチン接種の安全性は？（アレクサンドラ・アンリオン＝コード著『コロナワクチンその不都合な真実』詩想社）

栄養を十分とって免疫力を高めるという基本中の基本の視点を大切にしているのでしょうか？（川手鮎子著『漢方のくらし365日』自由国民社）

3 原因を正しく捉えること・・・

(1) 例えば、「自殺」は原因を個人に求めるだけで済まされない背景が統計的にはいろいろあるということらしいです。（永井孝尚著『世界のエリートが学んでいる教養書必読100冊を1冊にまとめてみた』KADOKAWA）

(2) 1月2日の羽田空港での衝突事故が起きた原因は何だったのでしょうか？

4 生きることの本質は・・・

正月気分の元旦の日の突然の大地震で改めて考えさせられたことは・・・、いつ何時降りかかってくるかもしれない災難に備える普段からの努力は欠かせません。しかし、それをもってしても超える自然の、地球規模の、宇宙規模の渦に巻き込まれたらどうしようもありません。そうなれば、自分がいかにちっぽけな存在であるのかということを知覚し、いただいた命を誠実に命ある限り精一杯生きる。そこにしか、自分の生きる本質はないのでは・・・。そんな気持ちを強くした年の始めとなりました。